

令和4、5年度

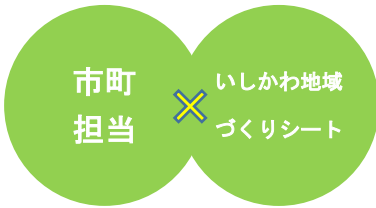
「いしかわ地域づくりシート」

の研修等

令和4年度

1. 生涯学習・社会教育担当職員向けの研修

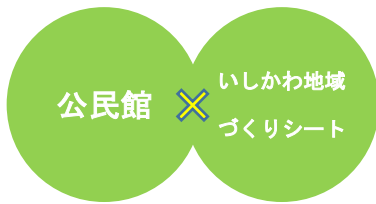
県市町社会教育主事等連絡協議会、市町生涯学習担当者基礎研修



市町の担当者にいしかわ地域づくりシートについて説明し、県の新しい取組を理解してもらい、協働・周知の協力をお願いしました。

(会場：石川県庁)

市町公民館長研修、公民館職員基礎研修、公民館職員専門研修



公民館長、公民館主事等にいしかわ地域づくりシートについて説明し、県の新しい取組を理解してもらい、今後の活用をお願いしました。

(会場：石川県立生涯学習センター)

輪島市公民館主事研修



県職員が依頼を受けて、輪島市に伺い、輪島市の公民館職員研修の中で、いしかわ地域づくりシートについて説明し、今後の活用をお願いしました。

(会場：輪島市役所)

以上の研修についての主な流れ

1. 講義「いしかわ地域づくりシートについて」
2. 演習①「地域分析シートの作成」
 - (1) 個人でSTEP1「地域の現状や実態」STEP2「地域の課題」を記入し、グループで交流
 - (2) STEP3「地域の資源（宝）」をグループで話し合いながら記入、交流
 - (3) STEP4「理想の地域像」を記入して交流
3. 演習②「企画シート（モデルシート）の作成」
 - (1) ①地域の現状・課題等 ②目指したい地域像 ③市町の「教育振興基本計画」
④事業名 ⑤活かせる地域の資源 ⑥SDGs との関連までを順に記入
 - (2) 具体的な取組内容、成果指標、予算、実施過程を記入
 - (3) 記入した事業について、グループ内で発表
 - (4) 各グループから、事業について発表

2. 地域住民向けの講座

いしかわの住民による「地域づくり」学び講座

地域住民が、地域課題や地域の将来像を共通理解し、課題解決、理想の地域像に向けて主体的に参画する地域づくりに向けた学びを充実させるために、『いしかわ地域づくりシート』を活用した、社会教育における地域づくりの手法を学ぶことを県がサポートしています。

いしかわの住民による『地域づくり』学び講座 in 新神田



「親と子たちに地域を知ってもらいたい」と、講座の依頼があり、まず、地域分析シートを活用して地域を知り、フィールドワークでさらに地域をみて、来年度の企画に活かすという計画で講座を開催しました。

第1回「私たちが考える新神田のまちづくり」

【日時】令和4年10月20日（木）18時00分～20時00分

【会場】金沢市新神田公民館

【対象】新神田地区在住の親子（10組）

【講師】浅野秀重（金沢大学名誉教授）

【ファシリテーター】下口勲（県生涯学習課社会教育主事）

講義

「私たちが考える新神田のまちづくり」をテーマに、浅野秀重先生が話しました。「学び（勉強）は、様々な可能性をもっている」「新神田をみる（見る、観る、覧る、診る）」「ヒト・モノ・コトをつないだ地域づくり」「ウェルビーイング（Well-being）って？」などを話していただき、「私たちのウェルビーイング、私たちが住む新神田のウェルビーイングを考えましょう」と提案していただきました。



活動① アイスブレイク

はじめに、参加者のみなさんの緊張をほぐすための活動（アイスブレイク）として「ここはどこかな？クイズ in 新神田」をしました。新神田地区の写真を提示して、どの場所なのかを参加者にどんどん答えてもらいました。



活動② グループワーク

地域分析シート（みるみるシート）に記入し、記入したことを、付箋に書き、グループ内で共有してきました。出た意見を地域の宝「ヒト・モノ・コト」の視点で、分類し、地域をみると、いろいろな地域の宝に気づくことができました。



どのヒト・モノ・コトを活かして、「理想の地域像」を目指すのか、グループごとに発表しました。消防の施設を活かした「安心できる新神田」、活発な子ども会を活かした「なかよしな新神田」などの子どもらしい意見が発表されました。



受講者の感想

- ・私たちの町にも色々なところがあるんだなあと再発見できました。
- ・ウェルビーイングは、身体的・精神的・社会的に良好で完全に満たされた状態のこと、すべてが幸福感や満足感に包まれている状態。住んでいるところが、安心ということもウェルビーイングと色々なことが分かりました。
- ・今回参加して、新神田のまちにいろんな場所があるのだと発見しました。自分の住んでいる町のことを知ることができてよかったです。
- ・今日の「新神田を見る」というのをした時、はじめはあんまり思いつかなかったけど、友達とふせんで、書いて探したりすると、意外と沢山新神田の地域のことを発見できた。このような機会がないと新神田

- を見ることってあまりないし、見つけることもできない。だけど、見つけられた。楽しかった。
- ・今日、学んだことは、色々な視点やこの地域(新神田)のいいところを見つけることでした。
 - ・この学びで見つけた新神田にしかないところを大切にしていきたいと思いました。そして、どんな町にしたいか「理想の地域像」をこれから自分ができることを一生懸命していきたいです。
 - ・新神田校下、いつも何も考えず生活していましたが、「ヒト・モノ・コト」を周りの方と一緒に考える事で沢山の発見がありました。
 - ・理想の地域に挙げたまちになれるよう、お互いに助け合って、より住みやすい新神田になれるように頑張っていきたいと思います。
 - ・普段、意識せず何気なく過ごしている、暮らしている街ですが、具体的に挙げてみると良いことばかりが出てきて住みよい街であること、みんなで考えて沢山出れば出るほど、益々好きになってきて、良い街であると確認となったように思います。
 - ・浅野先生のみるみる面白かったです。日本人で良かったです。
 - ・子ども達って、よく人を観察していますね。長髪のお坊さんびっくりしました。みる・みる・みるです。
 - ・私たちが写真を撮って、新神田のトランプ作りたいたいです。
 - ・これから、あたり前に思わず一つ一つみるようにしていきたいと思いました。今日のこの時間をありがとうございました。
 - ・新神田の町、知らなかったことがいっぱい。明日お父さんと一緒に新神田探検に行きたいです。
 - ・過去の歴史をもう少し学びたいと思いました。そして、未来につながるどんな町にしたいかが一番ワクワクしながら沢山出てきたように思います。

第1回を終えて

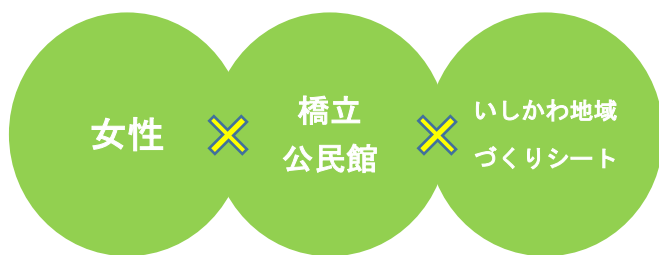
地域分析シートは子どもが参加できるように、また、短時間で作成できるように改良した「地域分析シート(みるみるシート)」を使って講座を進めました。ヒト、モノ、コトの視点を示すことで、地域の見方が具体的になり、シートに書き出しやすくなったようでした。グループワークが活発的に行われたため、交流後、個人でワークシートを書く場面をつくれれば、さらに学んだ後の自分の変容に気づき、よい学びにつながると思います。

コロナ禍で、2年間の地域行事の空白があり、参加した子どもや親の中には地域にはどんな行事があるのか、知らない方もいました。そんな中、長く地域の活動に携わっている方が地域にはどんな行事があったのか、どんなモノがあったのかなどを話していただくことで周りの方々も改めて地域を知ることができました。

浅野先生から、「なぜ、自分がそれを宝だと思えるのか」の自分にとって特別である理由を話してもらっていいとの助言をいただきました。

なお、第2回に予定していたフィールドワークは中止となりました。

女性による「地域づくり」学び講座 in 橋立



橋立地区では「まちづくりに今まで関わっていなかった女性の意見を取り入れることで、新しい地域づくりをしていきたい」と住民が気軽に話ができる「しゃべり場」を企画。その話のきっかけづくりを地域分析シートでしてほしいと講座の依頼があり、全3回の計画で講座を開催しました。

第1回「私たちの考える橋立地区のまちづくり」

【日時】令和4年12月16日（金）19時30分～20時45分

【会場】橋立地区会館

【対象】橋立地区在住の女性（16名）

【ファシリテーター】下口勲（県生涯学習課社会教育主事）

活動① アイスブレイク「フォトトーク」

アイスブレイクとして、橋立地区で夏から秋にかけて行われたフォトコンテストの作品から、1枚写真を選び、選んだ理由をグループ内で交流しました。



活動② グループワーク

個人で「地域の現状や実態」をシートに記入した後、ヒト、モノ、コトに色分けした付箋にそれらを1つずつ書き出し、グループで「地域の資源（宝）」について、交流しました。交流では、いろいろな地域の宝に気づくことができ、大いに話し合いが盛り上がりました。



「地区会館で行いたい企画」について、個人でシートに記入し、グループで交流した後、発表しました。「自然公園の竹を使った工作」「魚のさばき方教室」「フリーマーケット」「映画会」「雑学大学」などの案が発表されました。



受講者の感想

- ・魅力的な人がいること、自然の豊かさ、美しさなどの地区の魅力について、改めて気づくことができました。
- ・今回参加して、橋立地区にいろんなヒト、モノ、コトがあると気づきました。自分の住んでいる地区のことを改めて知ることができてよかったです。
- ・整備されていない竹林や魚さばきの上手な人などの地域の宝を活かして、地区会館で新しいことをしていきたいです。
- ・今日、提案された意見をぜひまちづくりに活かしていきたいと思いました。
- ・今日考えた企画を実際に行えるようにしたいと思いました。
- ・普段あまり、話したことがない人と話すことができてよかったです。
- ・気軽に安心して参加できる雰囲気がよかったです。次回も参加したいです。

第1回を終えて

主催者の想いや講座のねらい、参加者の実態に合わせて、地域分析シートの活用の仕方を工夫しました。シートのゴールを「理想の地域」ではなく、「地区会館で行いたい企画」と具体的な目標にすることで、今後の活動への見通しをもたせました。実際、講座終了後に行いたい企画について、今日知り合ったばかりの方々が楽しそうに話している姿が見られ、「自然公園の竹を使った工作」「魚のさばき方教室」などの具体的な提案が、次回への意欲につながっていると感じました。

なお、第2回「地域の宝のヒトとのコラボ+クリエイティブ」は、悪天候のため、中止となりました。

第3回「私たちの考える橋立地区のまちづくり」

【日時】令和5年3月10日（金）19時30分～20時45分

【会場】橋立地区会館

【対象】橋立地区在住の女性（16名）

【ファシリテーター】下口勲（県生涯学習課社会教育主事）

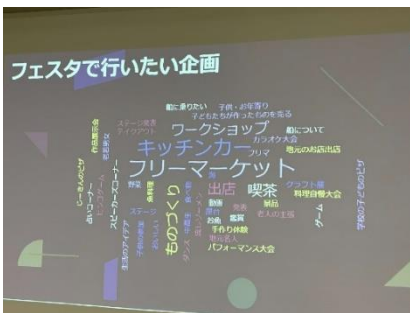
活動① アイスブレイク「ウェルビーイングカード」「ウェルビーイングに関するワードクラウド」

ウェブ版のウェルビーイングカードを使って、カードを選んだ理由やエピソードをグループ内で話したり、ウェブでワードクラウドを使って意見を出し合ったりし、交流しました。



活動②「フェスタの企画を考えてみよう」

フェスタで行いたい企画を、個人の端末で記入し、ワードクラウドに送信し、ワードクラウドを見ながら、交流し、さらに付け加えていきました。ワードクラウドを参考に、個人でワークシートを使って具体的に企画を考えました。

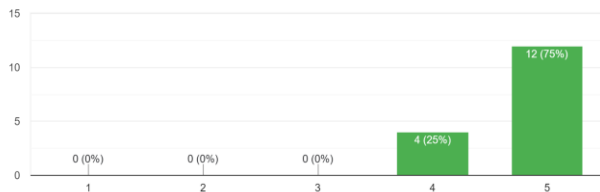


グループの中で「フェスタで行いたい企画」について発表し、交流しました。

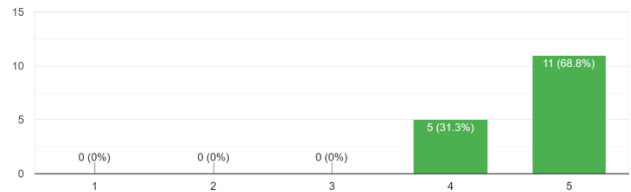


受講者の感想

講座内容にはどのくらい満足されましたか。
16件の回答



あなたにとって役立つ学びはありましたか。
16件の回答



今回の講座で、主にどのようなことを習得しましたか。

- ・ イベントを考える際の手順
- ・ 橋立のよさを改めて知ることができました。
- ・ きっかけの掴み方というか、発想の方法
- ・ 企画を考えるのは難しいが、思いついた単語を並べてみると答えが見えてくる
- ・ 思いがデジタルで集約出来ること
- ・ 1人で考えているときよりも、グループで話し合ったときの方が、アイデアがどんどん出てくる。
- ・ 女性の地域活動への参加（男女共同参画）は自然と広がっていくものということ。
- ・ 地域への思いを皆さん持っている心強さ
- ・ スマホを使って共有でき、いろんな意見が視覚化されて共感しやすかったので参考になった。
- ・ 自分の知らない橋立の良さをグループでの話し合いを通じて教えてもらえた。

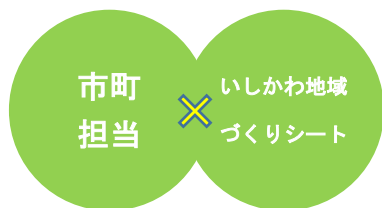
この講座を通しての感想をお書きください。（希望などもあればお書き下さい）

- ・ 地域の行事等を参加するだけだったので、考える時間を頂けて楽しかったです。
- ・ 楽しさが強くなると、みんな、発表したくなるのかなーと思えました。
- ・ 本当に実現するには1人ではなく何人かですることが良いなと思いました
- ・ 地域づくり講座、また開いて下さい。今回は橋立町でしたが、違う地区の方とも交流できる場があると嬉しいです。
- ・ 長く住んでいたにも関わらず、知らなかったことがいっぱいありました。もっと橋立の良さを知りたいです。そして橋立の良さや盛り上げるためにどうしたらよいか考えるのは楽しいです。
- ・ 自分以外の方の意見が大変参考になったので、グループワークは大事なんだな、と感じました。
- ・ 地域を大切にする、地域の人々を幸せにする、そのためには具体的に何ができるのか、考えるきっかけとなりました。
- ・ QRコードアンケートみたいに簡単に意見集約できるデジタルの魅力を感じた。
- ・ グループで話すことができ楽しく有意義な時間でした
- ・ 対話の重要性をしみじみ感じた
- ・ 十分な時間とグループでもっと話し合う時間があると良かった。
- ・ 長い間住んでいたにも関わらず、橋立の知らないことがまだまだあるなと思いました。もっと橋立の魅力を知りたいです。そして橋立のことを考える時間は楽しかったです。
- ・ 自由にしゃべりながらやるとアイデアが出てきて楽しかった。

令和5年度

1. 県での生涯学習・社会教育担当職員向けの研修等

県市町社会教育主事等連絡協議会、市町生涯学習担当者基礎研修



市町の担当者にいしかわ地域づくりシートの活用方法について説明し、市町での積極的な活用への協力をお願いしました。

(会場：石川県庁)

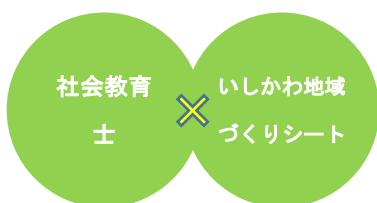
市町公民館長研修、公民館職員基礎研修、公民館職員専門研修



公民館長、公民館主事等にいしかわ地域づくりシートの活用方法について説明し、企画の立案、住民との行事などについての話し合いの際への活用をお願いしました。

(会場：石川県立生涯学習センター)

社会教育フォローアップ研修



社会教育士にいしかわ地域づくりシートの活用方法について説明し、企画の立案、住民との行事などについての話し合いの際への活用をお願いしました。

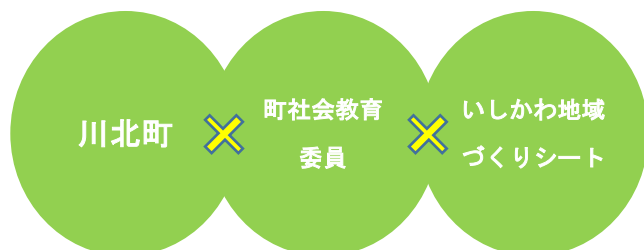
(会場：石川県庁)



2. 市町からの依頼での生涯学習・社会教育担当職員、社会教育関係者への研修等

市町からの依頼を受けて、市町の研修、会議等に伺い、いしかわ地域づくりシートについて説明したり、活用事例を紹介したりして今後の活用をお願いしました。

川北町社会教育委員の運営会議



川北町の事業の参考にしたいと会議への参加の依頼があり、運営委員会へ参加し、「いしかわ地域づくりシート」と「いしかわの住民による『地域づくり』学び講座」の説明をしました。

「企画を考えてみよう」

【日時】 令和5年5月29日（月）18時30分～19時30分

【会場】 川北町役場 【対象】 川北町社会教育委員、社会教育担当職員（6人）

【ファシリテーター】 下口勲（県生涯学習課主任社会教育主事）

情報提供

地域住民が、地域課題や地域の将来像を共通理解し、課題解決、理想の地域像に向けて主体的に参画する地域づくりに向けた学びを充実させるために、「いしかわ地域づくりシート」を活用した、社会教育における地域づくりの手法を学ぶことへのサポートを県が行っていることを説明しました。

新神田や橋立の事例をもとに、川北町で行われている「町民サミット」について考えました。

輪島市公民館主事研修



公民館主事にいしかわ地域づくりシートの活用方法について説明し、企画の立案、住民との行事などについての話し合いの際への活用をお願いしました。

「会議をカイゼンしよう」

【日時】令和5年7月19日（月）14時00分～15時30分

【会場】輪島市役所 【対象】公民館主事（15人）

【ファシリテーター】倉田啓介（県生涯学習課課長補佐）、下口勲（県生涯学習課主任社会教育主事）

活動① アイスブレイク「ウェルビーイングカード」

ウェブ版のウェルビーイングカードを使って、カードを選んだ理由やエピソードをグループ内で話し、交流しました。



活動②「企画を考えてみよう」

行いたい企画を、個人の端末で記入し、ワードクラウドに送信し、ワードクラウドを見ながら、交流し、さらに付け加えていきました。ワードクラウドを参考に、個人でワークシートを使って具体的に企画を考えました。グループの中で「行いたい企画」について発表し、交流しました。



どのヒト・モノ・コトを活かして、地域を活性化させる企画ができるかが発表されました。

能登町社会教育関係者研修



社会教育委員、公民館長、主事が一同に会して、いしかわ地域づくりシートの活用方法について考え、企画の立案などについて話し合いながら、意見交換を行い、社会教育関係者の交流を深めることができました。

「会議をカイゼンしよう」

【日時】令和5年7月26日（月）13時30分～15時30分

【会場】能登町役場 【対象】公民館長、公民館主事、能登町社会教育委員、生涯学習担当職員（32人）

【ファシリテーター】下口勲（県生涯学習課主任社会教育主事）

活動① アイスブレイク「どこかなクイズ」「わたしたちのウェルビーイング」

はじめに、参加者のみなさんの緊張をほぐすための活動（アイスブレイク）として「ここはどこかな？クイズ in 能登町」をしました。能登町の写真を提示して、どの場所なのかを参加者にどんどん答えてもらいました。また、ウェブ版のウェルビーイングカードを使って、カードを選んだ理由やエピソードをグループ内で話し、交流しました。



活動②グループワーク「企画を考えてみよう」

地域の宝「ヒト・モノ・コト」を活用して行いたい企画を、個人の端末で記入し、ワードクラウドに送信し、ワードクラウドを見ながら、交流し、さらに付け加えていきました。ワードクラウドを参考に、個人でワークシートを使って具体的に企画を考えました。



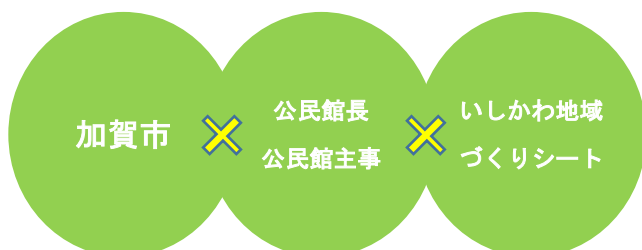
受講者の感想

- ・アイスブレイクの重要さを特に学ぶことができました。
- ・何かを行なう時、思い付く事を洗い出すことにより深まっていく事を再確認した。
- ・主催者、参加者が共に必要と思われる講座を見つけ出すことが大切である。
- ・少人数での意見交換の必要性に気付いた。
- ・形にはまらないことも大切。
- ・雰囲気づくりや積極的な姿勢が相手に伝わることや相手に共感しながら、自分の意見を伝えていくことの大切さに気付いた。
- ・地域づくりシートを使って、文字や数字に起こすことによりわかりやすくなった。
- ・企画の大切さ、実行までの流れの計画の大切さがわかった。
- ・ICTを活用していく事。
- ・とても参考になりました。
- ・講座もいいがその前に委員同士の意思疎通が最も大切だと考える。
- ・参加者に希望の講座または希望の内容を事前調査しても良かったかなと思います。
- ・各公民館内での意見交換で今後の地域の方向性を検討し早急に実施したい。
- ・ICTの研修は初めてでしたので、とても楽しかった。
- ・参加できてよかったです。公民館の方や地域のために活動していらっしゃる方にこれからも積極的に協力していきたいと思っています。
- ・また参加してみたい。
- ・グループワークが楽しかった。
- ・少人数グループでの参加で話しやすい雰囲気があり、緊張がとれて良かった。

担当者から

- ・社会教育委員と町内の各公民館職員が一同に会した研修会を初めて開催しました。意見交換としての意味合いも兼ねており、今後のそれぞれの活動に生きる情報交換がしっかりとできました。参加者の笑顔が見れて本当に嬉しかったです。ご講演ありがとうございました。

加賀市公民館主事研修



公民館館長、主事にいしかわ地域づくりシートの活用方法について説明し、企画の立案、住民との行事などについての話し合いの際への活用をお願いしました。

「人づくり・つながりづくり・まちづくりを考えよう」

【日時】令和5年8月7日（月）10時30分～12時00分

【会場】ホテルアローレ 【対象】公民館長、公民館主事（45人）

【ファシリテーター】下口勲（県生涯学習課主任社会教育主事）

活動① アイスブレイク

ウェブ版のウェルビーイングカードを使って、カードを選んだ理由やエピソードをグループ内で話し、交流しました。

活動②「企画を考えてみよう」

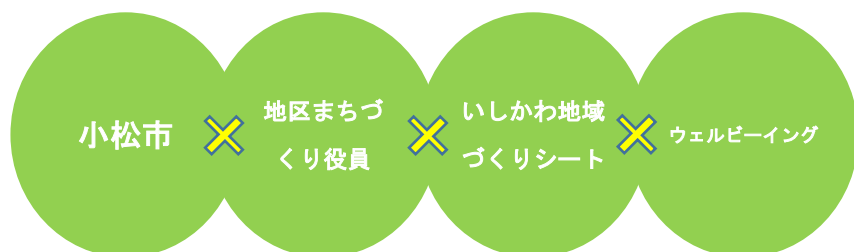
行いたい企画を、個人の端末で記入し、ワードクラウドに送信し、ワードクラウドを見ながら、交流し、さらに付け加えていきました。ワードクラウドを参考に、個人でワークシートを使って具体的に企画を考えました。



受講者の感想

- ・色々な企画が作りやすかった。これを活用できたらいい。
- ・意見を出してもらおうための技術、やり方のハードルを下げてもらえた。
- ・自分の中にあった思いがけないアイデアを引き出せてもらえて面白かった。
- ・グループで話し合うことが出来て良かった。グループ討論が楽しく有意義だった。
- ・アイスブレイクの必要性も確認でき、ワードクラウドの利用、ワークシートの活用を学べて良かった。
- ・自由に意見を出していろんな考えを見える化することで、新しい公民館事業を企画して新しい風を吹かせることができる。その手法を実践を交えて学べたのでよかった。
- ・少人数のグループで話しやすく、自分の意見も浅くですが発表することができ、人前で話す自信にも繋がったように感じる。
- ・企画シートでの考え方を実践した、例を見て、こんなふうに企画・実践ができるといいなあと思ったが、実際の地域性や実情を思うと、なかなか難しいことも、感じた。

小松市地域みらい共創ネット運営委員会



各地区のまちづくりに関わる協議会の方々に地域分析の仕方と企画の仕方を学んでもらいたいと市の担当の方から連絡をいただき、講義と演習を行った。

「みんなで地域づくりを考えよう」

【日時】令和5年11月2日（木）14時00分～16時00分

【会場】小松市役所

【対象】地区町づくり役員（12人）

【講師】浅野秀重（金沢大学名誉教授） 【ファシリテーター】下口勲（県生涯学習課主任社会教育主事）

講義

「ひとと地域のウェルビーイング」をテーマに、浅野秀重先生が話しました。「学び（勉強）は、様々な可能性をもっている」「地域をみる（見る、観る、覧る、診る）」「ヒト・モノ・コトをつないだ地域づくり」「ウェルビーイング（Well-being）って？」などを話していただき、「私たちのウェルビーイング、私たちが住む地域のウェルビーイングを考えましょう」と提案していただきました。



活動① アイスブレイク「わたしたちのウェルビーイング」「小松にはどんな宝があるのかな」

ウェブ版のウェルビーイングカードを使って、カードを選んだ理由やエピソードをグループ内で話し、交流しました。また、ICT活用して、ワードクラウドに意見をまとめることを紹介しました。



活動② グループワーク「地域分析シートの活用」

地域分析シート（みるみるシート）に記入し、記入したことを、付箋に書き、グループ内で共有していきました。出た意見を地域の宝「ヒト・モノ・コト」の視点で、分類し、地域をみてみると、いろいろな地域の宝に気づくことができました。

活動③グループワーク「企画を考えてみよう」

地域の宝「ヒト・モノ・コト」を活用して行いたい企画を、個人で企画シートに記入し企画を考えました。その後、グループで交流し、意見交換をしました。最後に各団体の取組に対して浅野秀重先生から助言をいただきました。

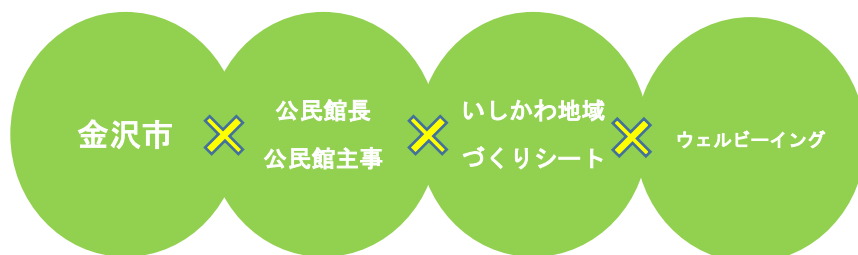
受講者の感想

- ・他の地域と課題が共有し、協議出来てよかった。
- ・ツールの使い方、地域づくりの大切さがわかった。
- ・集まり声を出す、声を聞くことが重要だと気付いた。
- ・多世代交流のきっかけづくりの方法が学べた。
- ・企画するにあたり、大変勉強になった
- ・繰り返しツールの使い方を勉強
- ・他の地域の現状がわかった
- ・地域の団体の方に集まっていたいただいて色々と課題など聞く場を作ろうと思っているので、今回の手法を使ってみたい。
- ・出来る事はやる。出来ない事はどうすれば良いか、他の協議会の意見も聞きたい。
- ・ワークシートがとても充実しており、思考のフレームとして、大変助かりました。
また、他の地区の方から、興味深い話、問題解決になるような話を聞けました。
また開催されるのなら、ぜひぜひ参加したいです。

担当者から

・ある地区の協議会の方が今年でもう協議会を閉じようと思っていたが、研修で学んだことを活かして、また、やっていこうと思ったとの声があった。その他にも大変有意義で勉強になり、また新しい発見があったとお礼の言葉をいただきました。地域活動にかかる学びが深まりました。公民館の活動においても地域づくりの活動に向けた様々な学びや取り組みがなされていることを学びました。

金沢市公民館主事研修



公民館主事に企画シートの活用して、企画力をつけたり、事業の振り返りをしたりしてほしいと担当者から依頼があり、講義と演習を行いました。

「企画を振り返ろう」

【日時】 令和5年12月13日（水） 14時00分～16時00分

【会場】 長土塀青少年交流プラザ 【対象】 公民館主事（52人）

【講師】 浅野秀重（金沢大学名誉教授） 【ファシリテーター】 下口勲（県生涯学習課主任社会教育主事）

講義

「金沢コミュニティとひとと地域のウェルビーイング」をテーマに、浅野秀重先生が話しました。「学び（勉強）は、様々な可能性をもっている」「地域をみる（見る、観る、覧る、診る）」「ヒト・モノ・コトをつないだ地域づくり」「ウェルビーイング（Well-being）って？」などを話していただき、「私たちのウェルビーイング、私たちが住む地域のウェルビーイングを考えましょう」と提案していただきました。



活動 ワークシートの活用「今年度の企画を振り返ろう」



本年度、行った事業をもとに個人で企画シートに記入し、グループで交流し、意見交換をしました。意見をもとに本年度の企画の改善ポイントなどを考えました。公民館の取組全般に対して浅野秀重先生から助言をいただきました。

受講者の感想

- ・以前、基礎研修の際に浅野先生の講義を聞いた時に感じて、大事だ！ウェルビーイングをはじめ、私の公民館は公民「寛」で自分も来訪者も寛げる雰囲気を作ろうと思っていたのに、すっかり忘れてしまっていたことに気付かされました。
- ・先生の最後におっしゃられた「日々 新しい 刺激を受け取ってほしい」、本当にそう思います。
- ・小規模グループで見える化した交流ができて、学ぶことがたくさんありました。
- ・地域づくりシートが以前よりもグレードアップされている気がしました。
- ・うちの公民館の次の世代とこのシートを活用してより良い地域づくりをしていきたいなと思いました。